



かたせ

自治連だより

2011年7月5日 第六号
 発行 片瀬地区自治連
 発行人 長谷川 紀夫
 事務局 片瀬市民センター内

平成23年度の自治連

1. はじめに

5月20日(金)午後2時から、片瀬市民センターホールで平成23年度片瀬地区自治町内会連絡協議会(自治連)総会が開催され、提案された議案等はすべて承認または決定されました。

今回の総会で、長年にわたり会長として自治連に貢献してこられた中村一郎氏が会長を退任され、新たに長谷川紀夫氏が会長に就任されました。

長谷川会長は、就任の挨拶(右欄記載)の中で、今年度から具体的にスタートする片瀬・江の島まちづくり協議会の事業について、自治連として積極的に推進していくとともに、今回の大地震をふまえ、自分たちのまちは自分たちでつくり、守り、育てるという意識のもとに、安全・安心のまちづくりに取り組むことを強調されました。

引き続き、午後3時30分から第1回定例会も開催され、各賛助団体が今年度の事業計画を説明するなど、本年度も自治連と手をたずさえ活動することで一致しました。

2. 事業計画について

自治連としては、片瀬・江の島まちづくり協議会と連携し、「住んで良かった」「いつまでも住んでいたい」そんな片瀬をめざし、住む人たちの積極的な交流を図るとともに、安全・安心のまちづくりをすすめるため、片瀬地区総合防災訓練を主催したり市防災リーダー講習会等を実施します。

3. 本年度の役員等について

1) 会員の互選により本年度の役員が次の通り選出されました。

- 会長 長谷川 紀夫 (西ブロック)
- 副会長 田中 誠治 (新屋敷ブロック)
- 副会長 美坂 盛園 (五町ブロック)
- 会計 徳江 久次 (江の島ブロック)
- 監事 近藤 道雄 (東ブロック)
- 監事 岩本 義久 (片瀬山ブロック)
- 顧問 中村 一郎 (東ブロック)
- 顧問 松岡 福造 (西ブロック)

2) 本年度の自治連役員(自治会長・町内会長)は次の通りです。

ブロック	自治会・町内会	氏名
1	弥生会	田中 誠治
	新屋敷親睦会	鈴木 显生
	新屋敷第一町内会	山田 貢
	三部会	*村越 洋美
	新屋敷第二町内会	杉下 由輝
6	片瀬山一丁目自治会	*尾崎 利喜子
	片瀬山二丁目自治会	*高島 良夫
	片瀬山三丁目自治会	*岩本 義久
	片瀬山四丁目自治会	*佐竹 喜美
	片瀬山五丁目自治会	*山谷 立
11	東町東会	中村 一郎
	片瀬目白山町内会	近藤 道雄
	片瀬中央平和会	甘糟 五郎
	片瀬三和会	中島 尚之

ブロック	自治会・町内会	氏名
15	西方町内会	松岡 福造
	西の原会	*甘粕 克巳
	御行町内会	長谷川 紀夫
	西浜町内会	*須藤 容一
19	下の谷本町町内会	金子 皓
	竜ノ口町内会	美坂 盛園
	スバナ通り町内会	福島 其一
	片瀬海岸二丁目町内会	*鎌ヶ江 昭房
	湘南グリーンソング自治会	渡辺 武
	江の島東町町内会	嶋山 義昭
	江の島西町町内会	金子 謙一
26	江の島弁天会	徳江 久次

*は会長が変更になった自治会・町内会

3) 本年度の片瀬地区自治連賛助団体は次の通りです。

団体名	氏名
1 地区社会福祉協議会	杉山 義子
2 地区生活環境協議会	渡邊 貴美子
3 地区交通安全対策協議会	山崎 宣英
4 地区防犯協会	*和田 昇
5 地区社会体育振興協議会	山口 幸雄
6 地区青少年育成協力会	波多 善子
7 地区民生委員児童委員協議会	山口 絢子
8 地区老人クラブ連合会	依藤 光雄
9 地区自主防災協議会	*長谷川 紀夫
10 地区消防第一分団	栗原 彌生
11 地区消防第二分団	甘粕 佐一
12 地区消防第三分団	廣瀬 保則

*は会長が変更になった団体

4) 経費について

自治連の運営は、各自治会・町内会からの会費、ふれあいまつり等の行事で得られる収入を原資として行われていますが、会費は次の通り算定されます。

自治会・町内会ごとに
 ・世帯割 (20円×加入世帯数)
 ・均等割り (5,000円)
 の合計額になります。

22年度の会費収入は292,920円で、その他の収入を合わせた収入合計は634,848円で、支出合計415,751円を差し引いた219,097円を23年度に繰り越しました。

23年度の予算では
 収入合計 600,000円
 うち会費 290,000円
 を予定しています。

就任ごあいさつ



片瀬地区自治町内会連絡協議会
 会長 長谷川 紀夫

この度、平成23年度片瀬地区自治町内会連絡協議会総会におきまして、前任の中村一郎会長の後任として自治連会長を仰せつかることになりました長谷川紀夫でございます。

前任の中村会長は高い識見と豊富な経験を基に、歴史と伝統ある片瀬のまちづくりのために、私共の先頭に立って行動され、多くの実績を残されてまいりました。その後任としてはいささか力不足ではありますが、精一杯努力してまいります所存であります。今後とも、自治会町内会をはじめ、地区各団体の皆様方のご支援ご協力をよろしくお願い致します。

昨年度、片瀬・江の島まちづくり協議会で、地域の幅広い層の多くの皆様からの声を集約し地域まちづくり計画を新たに策定し、今年度はその事業が実施されるスタートの年であります。

具体的には32項目の事業にまとめられ、その内容については既に全住民に周知されているところでありますが、事業によっては自治町内会との間わりを大きくしていかなければならない事業があります。

自治連と致しましても、それらの事業を積極的に推進してまいりたいと考えております。

個々の事業の推進にあたっては、出来るだけ多くの皆様の声を聞きながら、丁寧に取り組んでいくことが大切であり、皆様方のご理解とご協力をお願いいたします。

中でも、東日本大震災における地震と津波の恐怖・悲惨さは、写真や画像からではありますが、私たち片瀬の住民にとりましても生きた教訓となりました。

私たちは自然災害を防ぐことは出来ませんが、被害を少なくすることは出来ます。そのためには「自分たちのまちは自分たちでつくり、守り、育てる」という意識と行動力が大切であります。

自治連は、日頃のご近所のお付き合いを通して地域力を高め、安全安心のまちづくりの先頭に立って行動したいと考えています。皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

片瀬市民センター長 脇田 秀樹

倉持センター長の後任として、四月一日に着任いたしました脇田と申します。福祉行政をはじめ、片瀬・江の島のまちづくりに多くの実績を残された前センター長の足跡を活かさないよう、精一杯片瀬地区のために努めたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたしたします。

藤沢市では、市民サービスの向上と効率的行政運営を目指し、本庁機能の一部について、各地域で実施できる権限移譲(地域分権)を推進し、昨年度は五十九件今年度は六十八件の事業、許認可事務等が各市民センター・公民館に移譲されています。

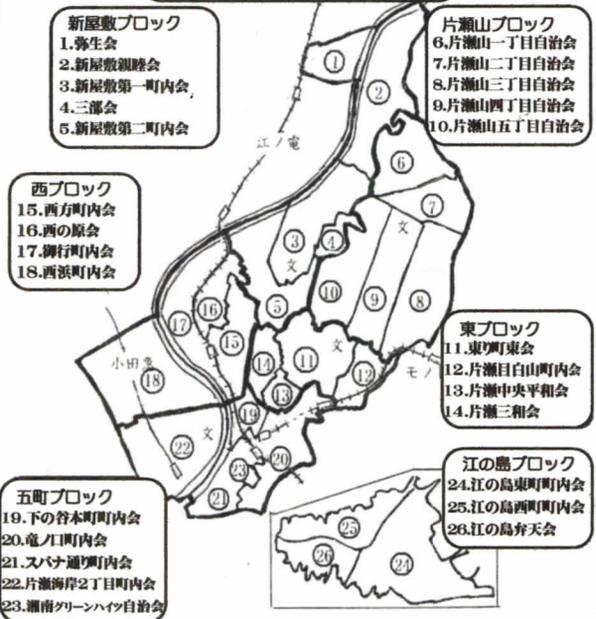
また、今年度からスタートした新総合計画におきましては、市域全体のまちづくり計画に加え、各地区ごとにも地域まちづくり計画を策定しています。片瀬地区では、地域の皆様のご意見をお聞きしながら「片瀬・江の島まちづくり協議会」とともに、「歴史の薫りと潮の香り」がたぐいあふれあひのまち片瀬・江の島と地域まちづくりのテーマとして、「片瀬地区地域まちづくり計画」を策定いたしました。今年度から前期六年、後期六年の十二年間の計画として、三年ごとに見

直しを行うことになっております。また、この計画を実施するために策定された全三十二事業の「片瀬地区地域まちづくり実施計画」の実施に向けて、協議会では、今年度から九つの部会(広報・IT・福祉推進・安全安心推進・環境美化推進・地域資源活用・公的資産活用・青少年健全育成・まちづくり推進・地域防災推進)を設置し、実施計画の推進に取り組んでいただくことになっております。そのためには協議会ももとより、自治連をはじめとした地域の活動団体や地域の皆様のご理解とご協力が必要不可欠となりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、平成十五年から八年間、自治連の会長を務められた中村会長が五月二十日の総会で勇退され、顧問になりました。この間、ボランティアセンターや安全安心ステーションの開設など片瀬地区の発展のために尽力されたご功績をたたえたいところですが、感謝申し上げる次第であります。

片瀬市民センターは、これからも自治連事務局として長谷川新会長をお支えし、地域の皆様とともに「住んで良かった」「いつまでも住んでいたい」そんな片瀬のまちづくりに努めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

片瀬地区 自治会・町内会一覧



その時 片瀬では

3月11日は私たちにとって忘れることの出来ない日になりました。その日、片瀬はどのような状況だったのでしょうか。当日は3月の天気の良い金曜日ということもあり、片瀬・江の島海岸には大勢の観光客がいたものと思われます。地震と津波警報によってその大勢の観光客が避難場所を求めて片瀬市民センター周辺の道路に次々に集まり、住民や市職員の指示で藤沢駅方面に流れるとともに、一部の観光客は地元住民とともに片瀬小学校・片瀬中学校・片瀬しおさいセンターをはじめ計7か所の避難施設に避難しました。ピーク時には約1,300名が避難、避難所に宿泊したのは約600名、その半分は帰宅困難となった市外の人々でした。まだTVで津波の惨状を見ていない観光客は比較的のんびりとした避難のようでしたが、あの恐ろしい津波映像を見ていたなら、恐らくパニック状態の避難になったのではないのでしょうか。

中学・小学校では、校長以下教職員と残っていた生徒たちが速やかに避難施設を開設し、地域の防災担当者と協力して避難されている大勢の人々の対応にあたりました。中学校では生徒たちが防災倉庫から毛布・食料などを運び出すのに活躍し、小学校では、水族館を訪れ帰れなくなった保育園児のために、小学生が図書室の紙芝居で園児たちを慰めるなど、地域の若い力が大きな貢献を果たしました。

津波到達時、片瀬漁港では岸壁近傍まで水位は上昇したものの陸に流れ込む事もなく、水面は短時間の間に潮位のように変動したが被害はなく、西浜海岸の砂浜の遡上跡、痕跡は通常の満潮位よりもやや高いという程度だったようです。それが大きく揺れる様子はあまり気持ちがいいものではありませんでした。将来予想される7メートルの津波ではどのようになるか想像できません。

今回の地震をうけて、考えておかなければならない事があまりにも多すぎるようです。もし地震が観光客の多いシーズンの休日だったら、もし深

夜や風雨の強い日だったら、停電・断水があったら、本当に津波が来たら、果たして冷静に行動できたのでしょうか。

今回の地震ではっきり判った事は「地震はいつか来る」のではなく「地震は必ず来る」ということです。

一人ひとりが日頃の備えを心がけるとともに、あらためていざという時のために、自治会・町内会、隣近所というコミュニティの大事さを見直す必要があるのではないのでしょうか。

自治会・町内会紹介 (6)

19 下の谷本町町内会 (五町ブロック)

下の谷本町町内会は、昭和12年に現在の国道467号「新道」が開通したことにより、その後両側に住宅が建ち並び発展し現在に至っております。

また、土・日曜日には首都圏より観光地一湘南に訪れる観光客の車で大渋滞しております。

この道路も「人にやさしく、防災に役立つ、美しいまちづくり」の一環として、平成21年度より神奈川県が電線の地中化のため、共同溝事業を行っており、将来は道路から電柱が無くなり、きれいな、すばらしいまちになります。現在も毎年少しずつ継続事業として工事を進めています。

下の谷本町町内会は交通の便が良く、近くには江ノ電「江ノ島駅」と湘南モノレール「湘南江の島駅」があり、小田急「片瀬江ノ島駅」にも徒歩10分ぐらいで行けます。

町内の境川左岸の場所は低地のため、大雨が降った時はマンホールや雨水桝などから水が噴きあがって道路が冠水してしまうこともあります。

地震の時、津波が発生した場合には境川を津波が遡上し、最初に被害を受ける地区である事が想定されるため、津波一時避難場所として「湘南タワーズ2階集会所」が指定されています。

左岸の河川管理道路も下の谷本町町内会部分だけが未舗装となっておりましたが、最近ようやく整備も完了したことにより、通勤・散歩コースとして利用しやすくなりました。

町内会そのものは小さくて世帯数は183世帯です。その他マンションが2棟、事業所は12ヶ所あり、銀行、医院、薬局等平日は多くの人が行きかうまちです。

昨年3月には片瀬地区ボランティアセンターが開設され、現在さまざまな活動がされております。

町内でも毎月15日に防犯パトロールを実施しております。資源ごみは当番制になっており、集積所は五町会館の前の広場で分類作業を行っています。

町内会では特に向う三軒両隣りで、「人々とのふれあい、話し合い、助け合いの心を大切に」をモットーとして、毎年、夏は納涼祭、12月はおもちつき大会などイベントを実施しております。

これは万一の災害時に備え日頃からお互いにコミュニケーションを深めるために行っています。これからも、安心、安全でいつまでも住み良いまちを作るために取り組んでいきます。(金子 皓)



(国道467号線)



(7月恒例の納涼祭)

編集後記

紫陽花の花の便りが届くようになりました。

この「自治連だより」も四月に発行する予定でしたが、あの大震災・停電またそれに続く各部門の事情で大幅に遅延し、誠に申し訳ない事と存じます。

今般、自治連の人事異動等もあり、併せて編集委員も一新、本欄にてご紹介申し上げます。今後ともさらに内容を充実させ、皆さまの役に立つ「自治連だより」を目指してまいりますので、よろしくご指導・ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

(中村 一郎 前自治連会長)

- 二十三年度編集委員
- (新屋敷ブロック) 太田 昌治
- (片瀬山ブロック) 青木 美和子
- (片瀬山ブロック) 勝並 紀夫
- (東山ブロック) 中村 一郎
- (東山ブロック) 若林 直美
- (西山ブロック) 長谷川 紀夫
- (五町ブロック) 渡辺 武久
- (江の島ブロック) 徳江 久次

自治連のホームページができました
ホームページは片瀬地区ポータルサイトからアクセスしてください。
<http://fujisawa-katase.ecom-plat.jp/index.php>
片瀬地区ポータルサイト→自治連→片瀬地区自治町内会連絡協議会で見ることができます。